

日本透湿防水シート協会 共通施工仕様書

1. 保管状態の留意

- 梱包材に入れたまま、高温、水濡れ、直射日光に曝されない場所に保管してください。
- 使用した残りのシートは、必ず梱包材に入れて保管してください。
- 火気および高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火気や高熱物を近づけないでください。

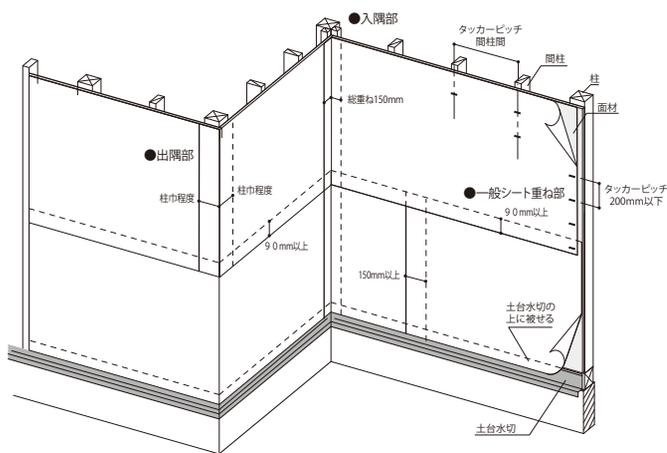
2. 施工前の留意

- 防蟻・防腐処理胴縁を使用して施工する場合の注意
 - ◇ 一部の防蟻・防腐処理された通気胴縁には、降雨水が掛かると薬剤成分が流れ出すものがあり、透湿防水シートの防水性能を低下させる恐れがあります。
 - ◇ 防蟻・防腐処理された通気胴縁を使用する際には、胴縁施工後、降雨水が掛からないように適時養生し、速やかに外壁材の施工を完了してください。
- 外壁施工前の注意
 - ◇ 外壁施工前にかなりの降雨が予想される場合には、必要に応じ、養生シートなどで覆うなどの雨水対策を行ってください。
- 施工現場にて梱包材から取り出してください。
- 外壁材とシートの間には必ず通気層を設けてください。
- モルタル直塗り工法の下地としては使用できません。
- 横張りとし、下から上に張り上げてください。
- 壁用断熱材として吹き付け断熱材（現場発泡系断熱材）を使用する場合の注意
 - ◇ 現場発泡断熱材を直接、透湿防水シートに吹き付けしないでください。
 - ▼ 透湿防水シートの性能・品質に影響を及ぼす恐れがあります。
 - ▼ 外壁通気工法の通気層を阻害する恐れがあります。
- サッシ廻りの施工の際は、透湿防水シートとの密着に優れた防水テープをご使用ください。
- 柱や土台など構造材に防蟻・防腐剤を使用する場合は、透湿防水シート施工前に行い、完全に乾燥してからシートを施工してください。

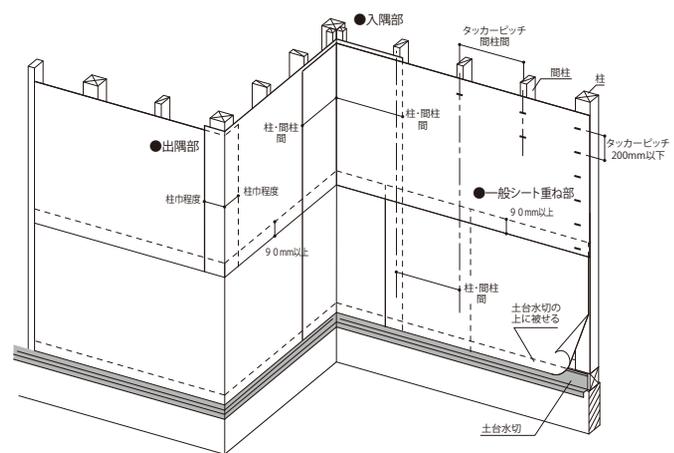
3. 施工方法

一般部の施工例

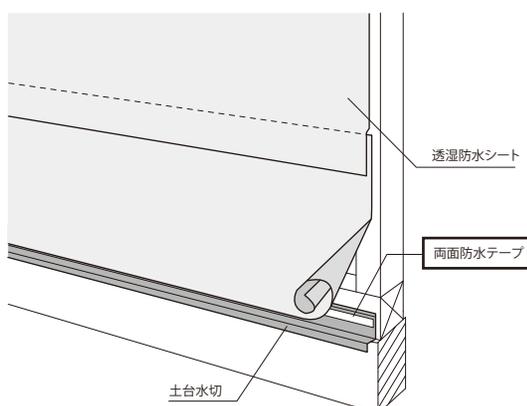
- 張り方は、横張りとし下から張り上げます。
- 縦の重ね代は 90mm 以上としてください。
- 横の重ね代は下地に面材がある場合は 150mm 以上とし、下地に面材がない場合は必ず柱・間柱があるところに柱（間柱）間隔で重ねを設けてください。
- 入隅部は、特に防水上の欠陥が生じやすいため、重ね合わせて二重張りとしてください。その際の重ね合わせ寸法は、下地に面材がある場合は 150mm 以上とし、面材がない場合は、必ず柱・間柱があるところに柱（間柱）間隔で重ねを設けてください。
- 出隅部は通しの施工とするか、もしくは入隅部同様の重ね（重ね代 150mm 以上）の施工としてください。
- タッカーのピッチは縦方向を 200mm 以下ピッチとし、横方向は間柱間のピッチにとめてください。
- 土台水切り部分は、雨水が土台天端に廻り込まないように透湿防水シートを土台水切りの上にかぶせてください。その際、水切りと透湿防水シートは防水テープでとめてください。
- 中間水切り部分は、土台水切りと同様に透湿防水シートを上にかぶせ、水切りと透湿防水シートを防水テープでとめてください。



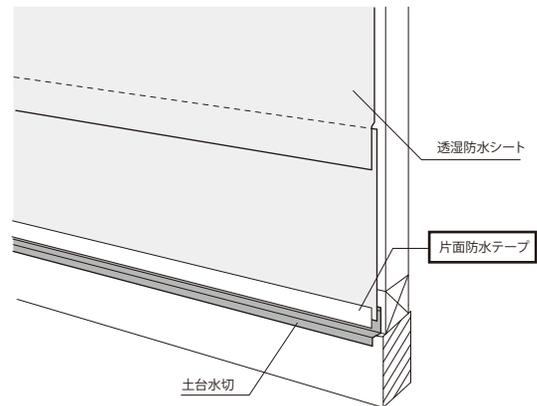
下地に面材がある場合



下地に面材がない場合



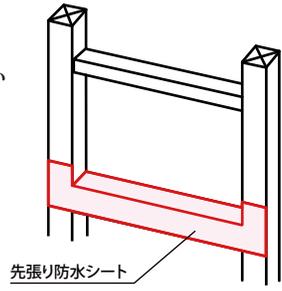
両面防水テープの場合のとめ方



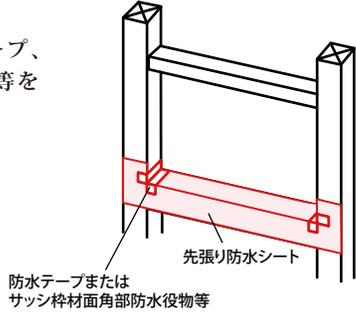
片面防水テープの場合のとめ方

開口部の施工例

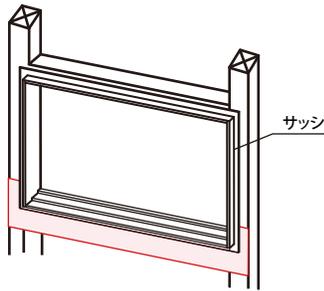
①窓台を覆い、開口部の両側の柱にかかると先張り防水シートを張る。



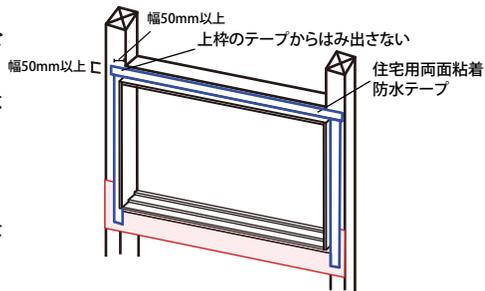
②窓台と柱の入隅部は、防水テープ、またはサッシ枠材角部防水役物等を用いて止水する。



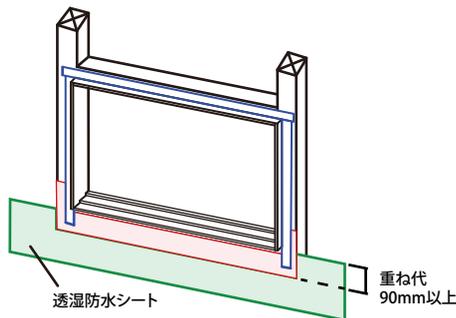
③サッシを取り付ける。



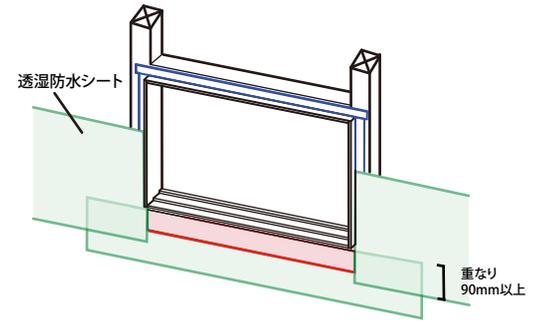
④サッシ縦枠、上枠の順に住宅用両面粘着防水テープ(幅50mm以上)を三辺に貼る。上枠のテープから縦枠のテープがはみ出さないように注意する。防水テープは、サッシくぎ打ちのフィンの根本を十分おおい、縦・横の防水テープ交差部に隙間が生じないように貼る。



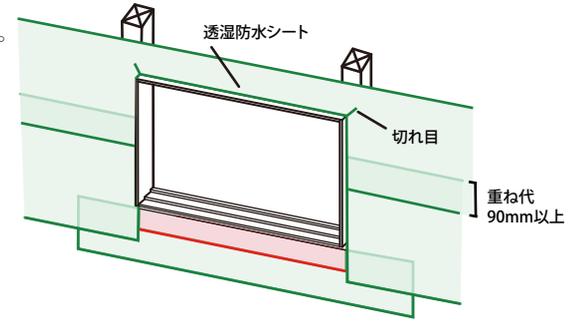
⑤先張り防水シートの下に透湿防水シートを差し込むように張る。先張り防水シートと透湿防水シートの重ね代は、90mm以上とする。



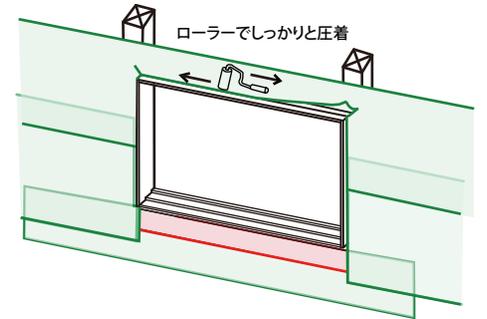
⑥サッシ縦枠は、縦枠に沿って透湿防水シートを張る。



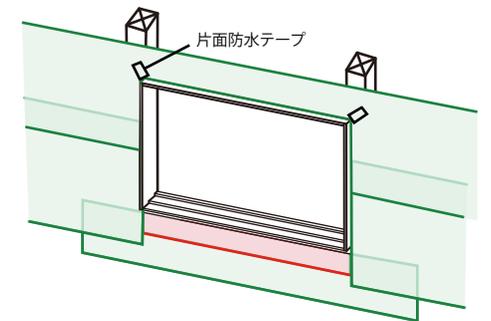
⑦サッシ上枠に沿って透湿防水シートを張る。サッシに沿って透湿防水シートを切り取り、上枠両端を斜めに切れ目を入れる。



⑧切り込みを入れた部分のシートをめくり、サッシ上枠に貼り付けた住宅両面粘着防水テープのはくり紙を剥がし、シートとテープをローラーでしっかりと圧着する。

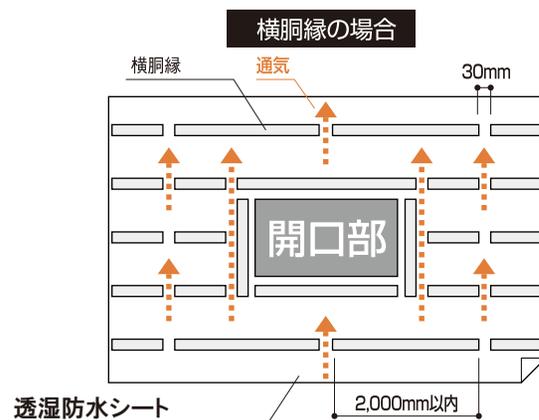
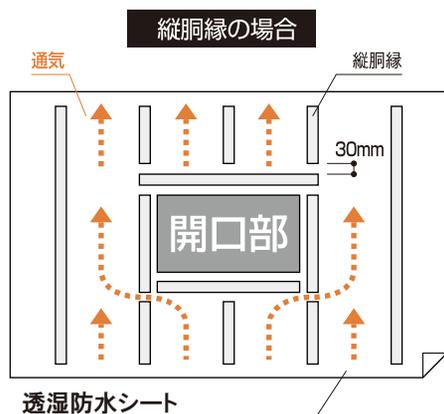


⑨サッシ上枠両端の切れ目を片面防水テープで覆うように貼る。

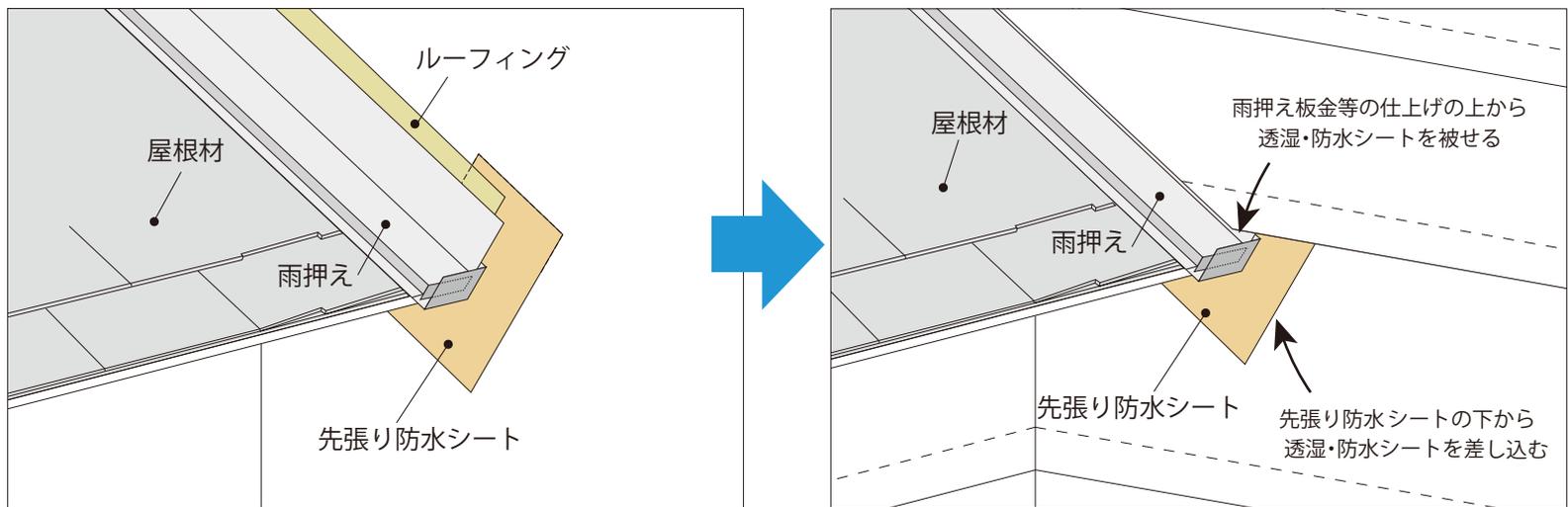


胴縁の施工例

●胴縁は通気が阻害されないように配慮してください。



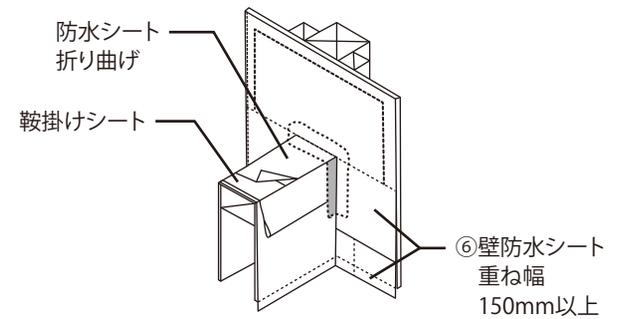
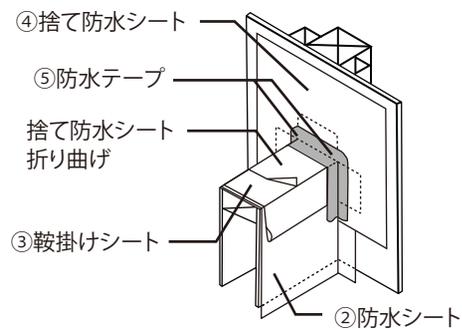
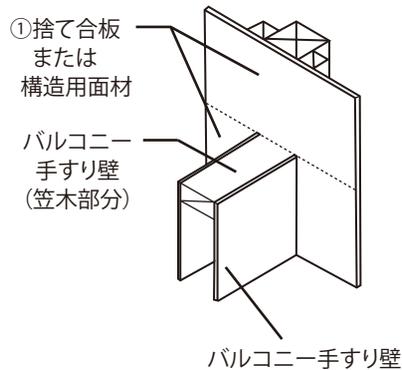
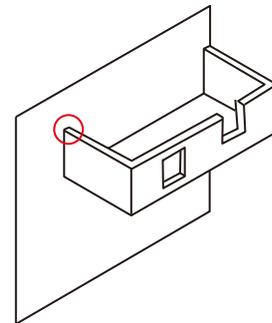
屋根と外壁の取り合い部の施工例



- 雨押え板金等の仕上げの上から透湿・防水シートが被さるように施工してください。
- 先張り防水シートの下から透湿・防水シートを差し込むように施工してください。

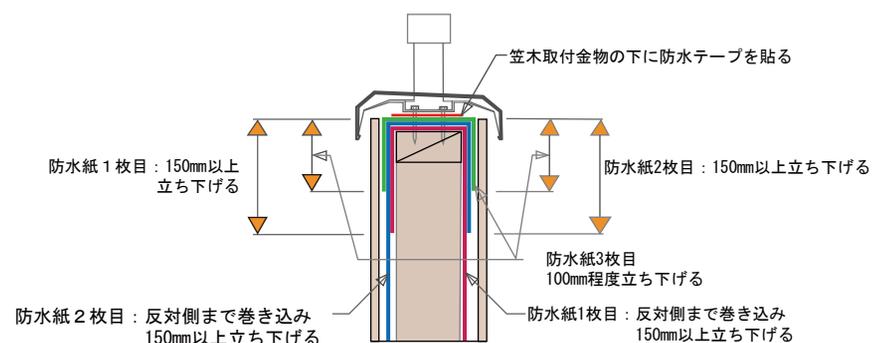
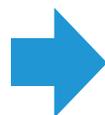
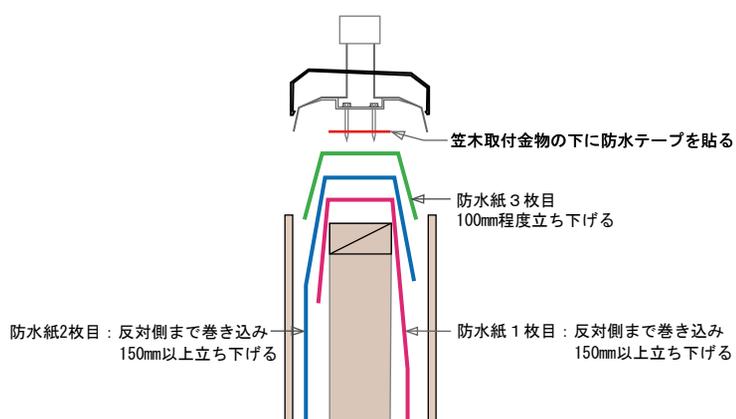
手摺り壁天端と外壁取り合い部の施工例

・右図のような、手摺り壁天端と外壁取り合い部について、



・下図のような、手摺り部について、

- ① 透湿防水シートを両面それぞれ反対側まで巻き込み、150mm以上立ち下げる。
- ② また手摺り天端に先張り防水シートを鞍掛けし、100mm程度立ち下げる。
- ③ 更に手摺り天端に金物の下部においては、笠木取り付け金物の下に防水テープを貼る。



破れた透湿防水シートの補修例

- 外壁材を施工する前に、透湿防水シートの破れやキズがないか確認し、必要に応じて補修を行ってください。

